

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	畜産振興事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	6	10	1	990
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	畜産関係者・団体	畜産農家数:戸	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した終了年度とする	198
			198	198		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	畜産の振興及び施設の整備を図る	畜産算出額:千円	18目標	最終目標		
			18実績	244	19目標	
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	負担金、補助金の支出、調査委託:畜産一般経費 管内の畜産状況を把握するとともに畜産に係わる基礎資料を作成するため畜産畜種別飼養実態調査を実施する。	18年度の実績 ・畜産畜種別飼養実態調査 調査対象畜産農家数 196戸 × 300円 ・家畜防疫推進事業 研修会参加・事務費 ・無獣医地区家畜診療事業負担金 上村地区:30,000円、南信濃地区:20,000円	畜産振興協議会開催数 防疫会議開催数	1 3
	19年度計画	・畜産畜種別飼養実態調査 調査対象畜産農家数 189戸 × 300円 ・家畜防疫推進事業 研修会参加・事務費 ・無獣医地区家畜診療事業負担金 上村地区:30,000円、南信濃地区:20,000円 ・飯伊家畜畜産物衛生指導協会負担金	同上	2 3

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	945	990
	事業費計(A)	945	990
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	1,088	1,133

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額等を高める活動をする	既存農業者の算出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 地域内の畜産振興における基礎資料作成及び家畜防疫対策の推進を行うために実施する。	事業を取り巻く状況の変化 ・BSE、鳥インフルエンザといった家畜伝染病が国内外で発生しており、県を中心に危機管理体制の整備が求められている。	事業に対する市民や議会の意見 安心安全な農畜産物を求める消費者の声が高まってきている。
---	---	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 域内の飼養実態の把握は、畜産振興に関わる各種補助事業等の基礎データとなるため。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 防疫事業の推進等には、関連する事業者・農業団体の協力が必要になり、体制づくりの整備について向上の余地がある。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 畜産振興に関わる事業であるため。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 畜産業は、当地域の農業における主要部門であるため。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 畜産振興に関わる事業であるため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 農業振興に関わる事業であるため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 飼養実態の把握調査等、各種畜産振興事業には必要であるため。
		公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 家畜防疫の推進等は、安心・安全な農畜産物の域内への安定的な供給につながるため、受益者は市民全体と考える。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	